

クラウド型システム発売

運送業務全般をカバー

トラックス

ソフトウェア開発・製造
会社のトラックス(松尾中
彦社長、千葉県市川市)は
2月から、運送事業者向け
クラウド型業務管理システ
ム「ドライブドア」を発売
する。

従来のパッケージソフト
トは初期費用が大きくサー
バー設置などの手間も掛か
るのに対し、インターネット
ト通信環境とパソコンがあ
ればすぐに導入でき、初期
投資も抑えられる。メンテ
ナンスやバージョンアップ
も自動的に行われ、ユーザ
ーの作業負担がほとんどな
い。

配車や点呼記録などの運
行管理のほか、車両、乗務
員、請求、備車、原価管理
など運送業務全般をカバー
し、使いたい機能を選べる。
請求書をはじめとする帳票
類は自由にレイアウトで
き、デジタルタコグラフと
の連携も可能。
初期費用は7万円、月額
利用料は通常版が1万50
00円で、1営業所ごとに

3000円が追加される。
通常版をベースにカスタマ
イスに対応する「エンター
プライズ版」もラインアッ
プ。4月からはオプション
として、タブレット(多機
能携帯端末)またはスマー
トフォン(高機能携帯電話
「スマホ)を利用し、配送
指示変更などのメッセージ
を送る「リアルタイム運送
情報管理オプション」、車
両位置を把握する「リアル
タイム動態管理オプショ
ン」の提供も始める。中小
運送事業者を対象に、We

bでの直販を進めていく。
(吉田 英行)